

田知本遥選手並びに登坂絵莉選手への 「富山県民栄誉賞」の贈呈について

1 富山県民栄誉賞について

「広く県民に敬愛され、県民に明るい希望と活力を与えるとともに富山県の名を高めることに特に顕著な功績があったもの（富山県表彰規則第6条）」に対して行われる表彰

(過去の受賞例)

H21.3.18 滝田 洋二郎氏（第81回アカデミー賞外国語映画賞受賞作品「おくりびと」監督）

H22.3.25 田畑真紀選手・穂積雅子選手（第21回オリンピック冬季競技大会スピードスケート女子チームパシュート銀メダル）

2 被表彰者

○田知本^{たちもと} 遥^{はるか} 選手

平成2年8月3日生（26歳）

ALSOK所属

射水市出身

○登坂^{とうさか} 絵莉^{えり} 選手

平成5年8月30日生（23歳）

東新住建(株)所属・至学館大学大学院在学

高岡市出身

3 功績概要

本県射水市出身の田知本遥選手、高岡市出身の登坂絵莉選手は、リオデジャネイロで開催された第31回オリンピック競技大会に日本代表として出場し、それぞれ柔道女子70kg級、レスリング女子48kg級において、見事に金メダルを獲得されました。

本県関係選手によるオリンピック個人種目での金メダル獲得は、夏季、冬季を通じて今大会が初めてであり、まさに本県のスポーツ界はもとより、富山県に新たな歴史を刻む偉業であります。

日頃のひたむきな精進と厳しい練習の積み重ねが実を結び、世界中が注目する大舞台でこのような偉業を成し遂げられたことは、大変素晴らしく、まさに県民の誇りです。

両選手の活躍は、県民はもとより国民の皆さんに勇気と感動、子どもたちに夢と希望を与えるとともに、人が輝く「元気とやまの創造」を目指し、全国、世界で活躍できる選手の育成等に全力で取り組んできた富山県の名を大いに高めるものであり、その功績は誠に顕著であります。

